

第6次草津市総合計画 第2期基本計画策定 市民会議

報告書

目次

はじめに	1
第1回 草津市総合計画策定市民会議 実施内容	4
1 実施概要	4
2 議事	4
3 グループワーク	5
4 グループワークでの主な意見	6
5 閉会	12
第2回・第3回草津市総合計画策定市民会議 実施内容	13
1 実施概要	13
2 当日のプログラム	13
3 基本方針ごとの意見	14
4 閉会	56
第4回 草津市総合計画策定市民会議 実施内容	57
1 実施概要	57
2 議事	57
3 会議録	58

はじめに

1. 目的

草津市では、現行計画の第6次草津市総合計画第1期基本計画の計画期間が令和6年度で終了することから、令和7年度から令和10年度までの4年間を計画期間とした第2期基本計画の策定に取り組んでいます。

この市民会議は、各団体の関係者と公募市民で構成され、草津市の今後のまちづくりなどについての意見交換を行い、いただいたアイデアや御意見を第2期基本計画の策定に生かすことを目的に設置しています。

第1回の市民会議では、基本計画の策定に向け、本市の「良いところ」、「変えたいところ」をキーワードに意見交換実施しました。第2回・第3回の市民会議では、基本計画の基本方針分野別の「私たちの役割」について市民や地域、事業者等の役割を中心に議論いただき意見交換を実施しました。第4回の市民会議では、第2回、第3回草津市総合計画策定市民会議での意見と対応について内容の確認を実施しました。

2. 委員名簿

No.	分野	氏名	所属	備考
1	人権	山元 孝子	草津市人権擁護委員会	
2	男女共同参画	内田 雪絵	くさつ☆パールプロジェクトチーム	
3	学校教育	寺尾 信一	滋賀県退職校長さざなみ会	
4	生涯学習・スポーツ	嘉悦 和子	草津市スポーツ推進委員協議会	会長
5	歴史・文化	矢守 渚奈子	草津市21世紀文化芸術推進協議会	
6	コミュニティ	中出 高明	草津市立地域まちづくりセンター運営会議	副会長
7	地域福祉	石本 恵津子	草津市ボランティア連絡協議会	
8	健康	井上 佐知子	一般社団法人 草津栗東医師会	
9	子ども・子育て・若者	柴田 みどり	草津市認可保育園連盟	
10	長寿・介護	田中 正治	草津市老人クラブ連合会	
11	障害福祉	園田 実乗	NPO法人 草津市心身障害児者連絡協議会	
12	防災	奥野 壽久	草津市防災指導員連絡協議会	
13	生活安心・防犯	野田 まり子	草津市消費者リーダー会	
14	環境	梶山 和紀	湖南 企業いきもの応援団	

No.	分野	氏名	所属	備考
15	交通	木村 幸太郎	草津市栗東交通安全協会	
16	道路・上下水道	守野 洋史	NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会	
17	農林水産	横江 秀美	滋賀県農業法人協会	
18	商工観光	山元 義宣	一般社団法人 草津市観光物産協会	
19	都市形成	上田 恭典	公益社団法人 滋賀県宅地建物取引業協会	
20	公園・緑地	中西 安子	NPO 法人 琵琶湖ネット草津	
21	情報・交流	鶴田 真理子	草津国際交流協会	
22	公募	伊藤 健二		
23	公募	角谷 貴美子		
24	公募	杉原 あや子		
25	公募	田中 博之		
26	公募	中村 年夫		
27	公募	堀尾 久美子		

3. 開催概要

① 第1回

日時	令和6年5月31日(金) 午後1時～午後3時
場所	草津市役所2階 特大会議室
テーマ	草津市の良いところ、変えたいところ ワークショップ方式

② 第2回

日時	令和6年7月25日(木) 午後1時～午後3時
場所	草津市役所2階 特大会議室
テーマ	私たちの役割 ワークショップ方式

③ 第3回

日 時	令和6年7月26日(金) 午後3時～午後5時
場 所	草津市役所8階 大会議室
テーマ	私たちの役割 ワークショップ方式

④ 第4回

日 時	令和6年9月5日(木) 午後3時～午後4時30分
場 所	草津市役所2階 特大会議室
テーマ	第2回、第3回草津市総合計画策定市民会議での意見と対応について

第1回 草津市総合計画策定市民会議 実施内容

1 実施概要

日 時	令和6年5月31日（金）午後1時～午後3時
場 所	草津市役所2階 特大会議室
出席委員 (24名)	山元孝子委員、内田委員、寺尾委員、嘉悦委員、中出委員、柴田委員、田中正治委員、園田委員、奥野委員、野田委員、梶山委員、木村委員、守野委員、横江委員、山元義宣委員、上田委員、中西委員、鶴田委員、伊藤委員、角谷委員、杉原委員、田中博之委員、中村委員、堀尾委員

2 議事

○グループワークの実施に先立ち、以下の順序で議事が進行されました。

(1) 開会

- ・総合政策部長による挨拶
- ・資料確認

(2) 委員紹介

- ・事務局による委員紹介および委員の自己紹介
- ・事務局の紹介

(3) 会長・副会長の互選

- ・草津市総合計画策定市民会議開催要綱第4条第1項に基づき会長および副会長を選出
- ・会長に嘉悦委員、副会長に中出委員を選出

(4) 草津市総合計画の説明

- ・事務局より草津市総合計画の説明

3 グループワーク

○下記のプログラムに従ってグループワークを行いました。



草津市総合計画策定市民会議 グループワーク プログラム





全体プログラム

- ① 開会
- ② 委員紹介
- ③ 会長・副会長の互選
- ④ 草津市の総合計画について
- ⑤ グループワーク

STEP1：「草津市の良いところ・変えたいところ」を出しあう。（50分）

- ・ **青色の付せん** に「草津市の良いところ」を書き出してください。
- ・ **桃色の付せん** に「草津市の変えたいところ」があれば書き出してください。
- ・ 書き終えた付せんを出しあって、テーブル内で書かれた内容を共有してください。
- ・ 出てきた意見を仕分けて、見出しをつける、矢印で結ぶなどによって取りまとめてください。

STEP2：アイデアをブラッシュアップして、発表に備える。（10分）

- ・ プレゼンに向けて、テーブルでの意見のまとめと、ブラッシュアップをお願いします。
- ・ また、発表内容の大筋を確認し、発表者を決めてください。

STEP3：みんなで出しあったアイデアを共有する。（20分）

- ・ 各テーブルで話しあった内容を、5分間程度で全体に発表してください。
- ・ 各テーブルから質問・コメントがあればお願いします。

- ⑥ 閉会

4 グループワークでの主な意見

○A～Cの3グループに分かれてグループワークを実施しました。

Aグループ

【良いところ】

UDCBK フェリエ

- ・南草津フェリエ使いやすい。イベントしやすい。駅近。
- ・UDCBK カウンターがないので職員さんと話しやすい。
- ・UDCBK イベント学・民・連携でまちづくりに参加している実感がある。
- ・UDCBK 社会実験などして、市民がまちのことを知りやすい。

市民活動拠点

- ・ヒトマチきりり(市民活動)が発展しやすい。わかりやすい。
- ・キラリエで市民活動がしやすい。協働ひろば。
- ・キラリエプロムナードでのイベント

人口増

- ・人口が増えている。
- ・市外から入ってくる若者が多い。

元気シニア

- ・高齢者が元気でグランドゴルフをやっている。

子育て

- ・保育園の数が多い。

イベント

- ・ボランティア活動をする人が多い。
- ・イベントが多いので楽しい。
- ・これからイベント目白押し。
- ・de愛ひろば様々なイベントしている。

住みよい

- ・高齢者には住みやすい。
- ・生活しやすい。
- ・自分にとっては住みよいまち日本 No.1

交通

- ・交通の便がよい
- ・京都、大阪に程よく近い

立命館

- ・立命館があるので外国人留学生が多く多文化共生面で力を借りることができる。
- ・立命館きれいで市民も中に入れる。
- ・立命館大に製陶や製鉄の遺産がある。

おいしい

- ・食事をするところが多いです。
- ・草津駅周辺コンパクトに美味しいものおしゃれな食べ物屋がある。

防災

- ・災害が少ない。
- ・災害が少ない草津。

自然

- ・緑が多い。
- ・自然が豊か。
- ・湖があり山(里山)があり。
- ・自然がある。気持ちよい。
- ・山もあり水もたっぷりで住みやすい。
- ・志津に運動公園ができる。

歴史

- ・歴史がある。

公園

- ・きれいな公園がある。

【気になるところ】

少子高齢

- ・子ども会などの減少。
- ・少子高齢化問題。
- ・高齢者が多い。
- ・1人暮らしが多くなっています。
- ・子どもが少なくてさみしい住宅がある。

地域活動

- ・自治会の衰退。
- ・地域の役員などまだまだ若者が少ない。
女性も少ない。

市民活動の環境

- ・市民センター日曜・祝日の貸館してほしい。
(働くママさんも多いので)
- ・de愛ひろば制約があり気軽に店出しにくい。
- ・南草津東山道記念公園を使いこなせていない。
- ・グラウンドゴルフ専用グラウンドがほしい。
- ・UDCBK 会社員には使いにくい。18:45~もやっていたら便利。
- ・南草津フェリエ市民センター調理室の時間制
使いにくい。9時~13時だと使いやすい。
- ・キラリエ調理室はせまい。
- ・情報をつかみにくい。
- ・南草津駅周辺が活用されていない。市民が使
いにくい。留まって楽しめない。

意識

- ・環境への意識が弱い。
- ・人に無関心になってきている。

健康

- ・ウォーキングが楽しめる。

市民性

- ・人がおだやかで優しい。
- ・女性を受け入れてもらう。男女平等である。
- ・市長が近い♡

- ・南草津駅エリアに比べると草津駅エリア元気がない。

子育て

- ・子育てがしんどい。
- ・子ども(学生)が勉強できる場所がない。

将来の不安

- ・農業の未来が見えない。
- ・今後増える外国籍の方々の対応策。

交通

- ・道中がせまい。自転車が多い。
- ・公共交通(特にバス)増やしたい。
- ・草津駅周辺駐車場が少ない。
- ・交通渋滞の解消。

行政

- ・縦割り行政が嫌だ。
- ・横につないでいく市民活動が弱い。
- ・バックキャストिंगしたまちづくり(ハード&ソフト)ができていない。
- ・地域のデザイン力が弱い。

防災

- ・南海トラフなどの大型地震対策。
- ・防災力のさらなる強化。

工芸品

- 工芸品の弱体化。

Bグループ

【良いところ】

災害

全国的にも災害が少ない。
災害が少ない。

行政

公共施設がきれい。
合併がない。

歴史・緑・自然

ほどよい田舎。
ここ10年間まちがバランス良く発展している。進行中。
田園都市のままで良い。静かな環境を維持したい。
地形上草津市はコンパクト。
新鮮な野菜が手に入る。
歴史と自然がいっぱい。

利便性高い

駅前の人気が高い
滋賀県一勢いがあるまち
買い物が便利
都市部と田舎部分が程よい距離感
駐車場が多い
飲食店が多くて便利（駅前）
地の利が良い

住みやすい

まちがきれい
住みやすい
広場が元気
子どもが増えている

【気になるところ】

災害

自主防災組織の充実が必要。
災害に対する危機意識が少ない。
災害関連死の審査会が未設置（守山はあり）。

公共施設・サービス

指定管理制度が多すぎる（良さを実感できない）。
監視カメラ（数）が地区によって違う。

古い町並み

古い町並みが薄れ、マンションが多い。
商店街に元気がない。
B級グルメの名物がない。

基盤整備

水道管が心配（老朽化）。
道路維持に予算が少ない。
市道の不陸が激しい。雨天に水たまりができ、はねる。
歩道街路樹の根が歩車を押し歩道も（市道）

駅前・交通問題

交通の便で、南草津駅に行くには歩かなくてはならない。バスが少ない。
駅周辺の発展は素晴らしい一方、調整区域が手つかずである。
交通弱者への配慮不足（まめバス）。
まめバスについてルートに必要性について再確認。

駅周辺は車が多い。
 南草津の自転車置き場が少ない。
 自転車駐輪場が少なく不便。
 自転車道の整備。
 キックボード（大学生）。
 土地代が高い。購入しづらい。

地域サービス

広報紙が読まれていない。

高齢化・農業振興

農の担い手。
 農業振興。担い手の確保。基盤整備（農地）。

高齢者・サービス

学区の格差を感じる。
 どこを見ても高齢者ばかり。
 介護保険料が全国平均より高い。
 高齢化が進行している。

まちの姿

子どもが大事にされる社会。あらゆる角度から。
 街灯が少ない。
 空家がそのまま。
 ゴミの多さ。

5月31日 B班

Bグループのワークシート

Cグループ

【良いところ】

人口やコミュニティに関すること

まち協の職員さんが協力的。
人口が増えている。
若い世代の住民が多く、子どもも多い。
大学、大学生とコラボができないか。
子育てしやすい。

にぎわい

飲食店がいろいろある。

農業

水田が多く、緑豊かである。
地元産の農産物がある。

自然

琵琶湖岸の公園がきれい。
公園が多い。
ロクハ公園の自然がよい。
歴史・文化遺産が多い。
びわこの風景がきれい。

「ビワイチ」が流行している。
草津川跡地公園が整備されている。
自然が豊か（琵琶湖の周り）
身近なところに琵琶湖があり、里山がある。

インフラ

災害が少なく住みよい所である。
水に困らない。
交通が便利。
利便性が良い。
利便性高いコンパクトなまち。
アクセスが良い。

図書館

図書館が元気。

福祉・教育

市内全校で ESD に取り組んで一体感がある。
障害福祉サービス事業所がたくさんある。

【気になるところ】

人口やコミュニティに関すること

隣近所の絆の希薄化。
マナーが悪い（草津市だけではないと思いますが）。
団体の後継者不足。
大学生や大学の持つ施設との連携、交流が課題。

にぎわい

南草津駅東口のにぎわい、個人店少ない。夜さみしい感じ。
サードプレイスなどの居場所が少ない。

農業

水路が多く危ない場所がある。
農業者の減少。後継者不足。

情報発信

情報の伝え方、手段・ツールが課題。

自然

河川・池の外来生物が生息している。主にミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニ、ウシガエル、スクミリンゴガイ
ロクハ公園を自然共生サイトに認定（申請）できるのではないかな。

遊具を充実してほしい。

びわこ湖岸（中間水路）の景観を良くしてほしい。

インフラ

狭い道が多く危険。

道路渋滞が激しい。

ダイヤやニーズがあっていない。

高齢になり、車に乗れなくなった時の移動手段がない。

図書館

図書資料の充実してほしい。

新しい図書館を整備してほしい。

図書館の自習スペースがない。

福祉・教育

重度の障害者の方のサービスが一部不足している。

「予算がないので」と言われることがある（委託、補助）。



5 閉会

今後の流れ

- 今回のグループワークで、草津市の「良いところ」「気になるところ」を他の人と共有することができました。
- 第2回・第3回の市民会議のグループワークでは、今回得た認識を活用しつつ、基本方針ごとの「私たちの役割」について意見を出していくことを確認しました。

第2回・第3回草津市総合計画策定市民会議 実施内容

1 実施概要

	第2回	第3回
日時	令和6年7月25日(木) 午後1時～午後3時	令和6年7月26日(金) 午後3時～午後5時
場所	草津市役所2階 特大会議室	草津市役所8階 大会議室
出席委員 (第2回: 19名) (第3回: 19名)	山元孝子委員、内田委員、寺尾委員、 嘉悦委員、矢守委員、中出委員、 石本委員、田中正治委員、奥野委員、 野田委員、梶山委員、木村委員、 山元義宣委員、中西委員、鶴田委員、 角谷委員、杉原委員、田中博之委員、 中村委員	内田委員、嘉悦委員、矢守委員、 石本委員、田中正治委員、園田委員、 奥野委員、野田委員、梶山委員、 木村委員、山元義宣委員、上田委員、 鶴田委員、伊藤委員、角谷委員、 杉原委員、田中博之委員、中村委員、 堀尾委員

2 当日のプログラム

○下記のプログラムに従って会議を行いました。



第2回 草津市総合計画策定市民会議
グループワーク プログラム

全体プログラム

① 開会

② 今回の説明

③ グループワーク



STEP1：前回ワークの振り返り（5分）

- ・前回の自分のテーブルの結果や感想について、簡単に紹介し合ってください。

STEP2：「私たちの役割」を出しあう。（80分）

- ・【黄色の付せん】に市民・地域の「私たちの役割」について、【黄色の付せん】に事業者等の「私たちの役割」について「もっとこうしたら良いと思うこと」を書き出してください。
- ・書き終えた付せんを出しあって、テーブル内で書かれた内容を共有してください。
- ・出てきた意見を仕分け、見出しをつける、矢印で結びなどによって取りまとめてください。

STEP3：アイデアをブラッシュアップして、発表に備える。（5分）

- ・プレゼンに向けて、テーブルでの意見のまとめと、ブラッシュアップをお願いします。
- ・また、発表内容の大筋を確認し、発表者を決めてください。

STEP4：みんなで出しあったアイデアを共有する。（15分）

- ・各テーブルで話しあった内容を、5分程度で全体に発表してください。
- ・各テーブルから質問・コメントがあればお願いします。

④ 閉会



第3回 草津市総合計画策定市民会議
グループワーク プログラム

全体プログラム

① 開会

② 今回の説明

③ グループワーク



STEP1：前回ワークの振り返り（5分）

- ・前回の自分のテーブルの結果や感想について、簡単に紹介し合ってください。

STEP2：「私たちの役割」を出しあう。（80分）

- ・【黄色の付せん】に市民・地域の「私たちの役割」について、【黄色の付せん】に事業者等の「私たちの役割」について「もっとこうしたら良いと思うこと」を書き出してください。
- ・書き終えた付せんを出しあって、テーブル内で書かれた内容を共有してください。
- ・出てきた意見を仕分け、見出しをつける、矢印で結びなどによって取りまとめてください。

STEP3：アイデアをブラッシュアップして、発表に備える。（5分）

- ・プレゼンに向けて、テーブルでの意見のまとめと、ブラッシュアップをお願いします。
- ・また、発表内容の大筋を確認し、発表者を決めてください。

STEP4：みんなで出しあったアイデアを共有する。（15分）

- ・各テーブルで話しあった内容を、5分程度で全体に発表してください。
- ・各テーブルから質問・コメントがあればお願いします。

④ 閉会

3 基本方針ごとの意見

- 第2回をA～C、第3回をD～Eに分かれてグループワークを実施し、基本方針ごとの「私たちの役割」について議論を行いました。
- グループワークで用いた付せんにかかれた内容とグループワーク中の参加者の発言に基づき、意見を取りまとめました。

基本目標1 「こころ」育むまち

人権分野

【概要】

市民・地域の役割として、「人権」に関して理解を深めるために、地域やご近所間で顔が見える・言葉が交わせる人間関係を作る視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
1-1 人権の尊重	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の人権啓発事業や人権への関心を高める取組等に積極的に参加します。 ○地域や団体における人権教育を推進します。 ○身近な人に相談ができる関係づくりに努めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の人権啓発事業や人権への関心を高める取組等に積極的に参加します。 ○組織内における人権教育を推進します。 ○組織内に、気軽に相談ができる環境をつくるとともに、必要時に各専門機関へつなぎます。

【主な意見】

1-1	主体	意見
人権の尊重	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「近所が見えないので関係づくりをどうやってつくるか」という視点や内容が必要である。 ● 「顔が見える・ことばが交わせられる人間関係が重要である」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 早期解決は具体的に何年かを示さないのか。ずっと早期解決という言葉を使用しているが、解決していない。違う言葉を使ってはどうか。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況の記載に見られる「多様」は悪い意味で使っているのではないか。 ● P20、21等で「充実を図る」という言葉があるが「推進」と同じ意味なのか。言葉を統一したり定義を明らかにすべきではないか。

男女共同参画

【概要】

市民・地域の役割として、「さまざまな困難を抱える女性への理解を深め」とあるが、性的マイノリティに対する理解も記載するべきとの意見がありました。また、男女共同参画社会の構築に向けて「男性」についての記載もするべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
2-1 男女共同参画社会の構築	市民・地域	○男女共同参画について学び、気軽に話ができる機会をつくり、参画します。 ○家庭、職場、地域、学校等で男女共同参画の推進に努めます。 ○さまざまな困難を抱える女性への理解を深め、男女ともに安心して暮らせるよう、見守り支え合います。
	事業者等	○男女が職業生活と子育て、介護等の家庭生活を両立することができ、誰もが働きやすい職場づくりに努めます。 ○女性の継続就業、女性の育成・登用に取り組み男女共同参画を推進します。

【主な意見】

2-1	主体	意見
男女共同参画社会の構築	市民・地域	<ul style="list-style-type: none">● 「参画」と「参加」の違いは何か。● 「女性」に関する項目が多いが「男性」もあるのではないか。● 「女性への理解を深め」とあるが、性的マイノリティへの理解は記載しないのか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none">● 「努めます」の表記があるが「推進」との違いはあるのか。
	行政	<ul style="list-style-type: none">● 行政の役割として「各協議会、審議会の女性比率を高めるよう努めます」のように具体的な方向性を記載してはどうか。
	その他	(意見なし)

学校教育

【概要】

基本方針 3-1 の市民・地域の役割として、「○持続可能な社会を共に創造していく地域人材として積極的に学習支援に取り組みます。」という役割の追加や、原案の役割 1 に「地域社会の一員」や「主体的」の文言や、原案の役割 2 に「課題解決を通して共に育ち合い」の文言を追加するべきとの意見がありました。また、事業者等の役割としては、「家庭・学校・地域や関係機関等の連携を充実させ、子どもの健全な心身の醸成を図ります」を「子どもの健全な心身の醸成をはかるための機会を提供します」との表現に留めておくべきとの意見がありました。

基本方針 3-2 の市民・地域の役割として、多様な価値観でそれぞれの子どもを育てていく視点や、親同士が相談し合える場の大切性の視点から新たに役割を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
3-1 子どもの生きる力を育む教育の推進	市民・地域	○家庭や地域において子どもの自己肯定感を大切に、新しい時代の変化にも対応できるようにします。 ○子どもと大人が共に育ち、あらゆる多様性を受け入れられる地域づくりに取り組みます。 ○家庭・学校・地域や関係機関等の連携の大切さを理解し、子どもの心身の健全な成長を支援します。
	事業者等	○学校と連携を図り、子ども一人ひとりが大切にされる支援をします。 ○家庭・学校・地域や関係機関等の連携を充実させ、子どもの健全な心身の醸成を図ります。
3-2 学校の教育力の向上	市民・地域	○学校や地域からの情報をもとに、子どもを取り巻く諸課題に関心を持ち、解決のための学校支援を積極的に行います。
	事業者等	○学校と連携を図り、特別授業等において自らの専門性を教育の場に生かします。

【主な意見】

3-1	主体	意見
子どもの生きる力を育む教育の推進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「○家庭や地域において、子どもの自己肯定感を大切に、地域社会の一員として、新しい時代の変化にも主体的に対応できるようにします。」の文言に変更してはどうか。 ● 「○持続可能な社会を共に創造していく地域人材として積極的に学習支援に取り組みます。」という役割を設けてはどうか。 ● 「市民の役割」の2つ目について、「子どもと大人が共に課題解決を通して共に育ち合い、あらゆる…」という記載にしてはどうか。 ● 役割の一つ目について、主語が誰か分かりにくい。「～大切に」と「～対応できる」の主語はそれぞれ違うのではないか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「子どもの健全な心身の醸成をはかるための機会を提供します」くらいにした方がよいのではないか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 「中学生は高校生、小学生は中学生など社会にいる(1つ上の)先輩との交流できる場を提供する」という視点や内容を加えてはどうか。

	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 進学・進路に悩んでいる学生が多いことを踏まえ、現況に「社会の情報を取りにくく、社会と学校教育の間に隔たりがある。」という視点や内容を記載してはどうか。 ● 主要事業に挙げられていない事業、今後必要となる事業(例えば多文化理解など)もあるのではないか。 ● 概要の要素に、①「情報を集める力」、②「自分の未来を決める力」を加えてはどうか。理由としては、①学校ですでにやっていて大切な力、②知っても経験しないとわからなくて決められないため。 ● 施策に「自分を深掘りするやり方を習得・経験値を高める質問力」を追加してはどうか。(理由)知識を入れても自分に落とし込めないと子どもの未来につながらないから。方向性を決めるにはやってみなくちゃわからないから経験少なくて選べていないと考える。 ● 「society5.0 時代」は日本語で表現した方が良いと考える。 ● Society5.0 以上の社会が来るのではないか。 ● 「参画」と「参加」の違いがわからない。 ● 「スクール ESD」が何かわからない。
--	-----	--

3-2	主体	意見
学校の教育力の向上	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 役割の一つ目を「〇学校や地域からの情報や要請をもとに(見える化)子どもを取り巻く諸課題に…」という記載にしてはどうか。 ● 多様な価値観でそれぞれの子どもを育てられると良いという視点を加えてはどうか。 ● 親同士が相談し合える場があれば良いという視点を加えてはどうか。 ● 「学校支援」の要素としてサードプレイスを検討してはどうか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政の役割として、子どもたちが何事も多くやってみたいことをチャレンジし、現実と理想、本当にやりたいことなのか、自分の気持ちとのマッチングを試せる場とサポートの場？を提供するなどの言葉があれば良い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要事業に「多文化教育」「自分を見つける」「深掘り」のような視点や内容を追加してはどうか。 ● 知識は入るけど自分と向き合う時間がないため、「自分は社会に、何をしたいのか、何ができるのかわからない。」といった視点や内容を追加してはどうか。 ● 概要について、「～展開するとともに多様な人と協働することの大切さを学ぶ教育を推進します。」を加えてはどうか。 ● 「校務 DX」が何かわからない。

生涯学習・スポーツ

【概要】

基本方針 4-2 の市民・地域の役割として、国スポや障スポなどのスポーツイベントのボランティアなどとして協力するなどの役割を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
4-1 生涯学習の推進	市民・地域	○学びを通じて様々な知恵や知識・教養を身につけ、心豊かな生活を実現します。 ○地域の学習活動に参画することにより、自らの学びを地域に還元し、子どもと大人の協働による学び合いを実現します。
	事業者等	○市が主催する講座や委託事業等において協賛や支援をします。 ○より専門性の高い知識や技術を地域の学習活動に還元します。
4-2 スポーツの充実	市民・地域	○自分にあった関わり方でスポーツに親しみ、継続して行うことで自らの健幸づくりに努めます。 ○スポーツを通じた市民相互の交流により、地域の活性化につなげます。
	事業者等	○市が主催するスポーツイベント、委託事業等において協賛や支援・援助をします。 ○専門性の高い知識や技術などのスポーツ資源を地域のスポーツ活動に還元します。

【主な意見】

4-1	主体	意見
推進 生涯学習の	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	● 図書館で学生自習 OK という視点や内容を取り入れてはどうか。
	行政	(意見なし)
	その他	● 「推進」と「実現」の違いは何か。

4-2	主体	意見
スポーツの充実	市民・地域	● 令和7年度の国スポ障スポのボランティアを募集しているが、市民による協力を市民の役割としてはどうか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	(意見なし)
	その他	● 指標の週 1 回 30 分以上のスポーツ実施率は高齢者が高いと思う。 ● スポーツに取り組む以上に「性教育」「リプロダクティブライツ」という視点や内容が必要ではないか。 ● VR 系でいつでもどこでもコミュニティにもなるため、主要事業で e-sport の活用を入れてはどうか。 ● 「レガシー」の意味が市民には伝わらないのではないかと。表記を変更しないのか。

歴史・文化

【概要】

基本方針 5-1 の市民・地域の役割として、「○地域の歴史資産を市民の財産として大切に保存し将来へ継承します。」というように身近な地域の遺産にも焦点を当てた記載をするべきとの意見がありました。また、役割 2 の文末に「ふるさと意識を高めます」などの記載をするべきとの意見がありました。

基本方針 5-2 の市民・地域の役割として、地域単位での発表の場、交流の場という視点や、大小それぞれの施設を活用し自主的・主体的に活動を行う視点から役割の文言を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
5-1 文化財の保存と活用	市民・地域	○歴史資産を市民の財産として大切に保存します。 ○歴史文化を地域学習の教材として活用します。 ○文化財の調査・保存・継承に積極的に協力します。
	事業者等	○開発事業者は、埋蔵文化財の取扱いについて事前に市と協議し、文化財の保護に協力します。 ○大学等は、専門の立場から歴史文化の魅力を紹介します。
5-2 文化・芸術の振興	市民・地域	○文化・芸術の担い手として自主的・主体的に活動を行います。 ○多様な文化・芸術を尊重し、分野や世代、地域を越えた交流を深めます。
	事業者等	○市民の文化・芸術活動の支援に努めます。 ○市民が文化に触れる機会を提供します。

【主な意見】

5-1	主体	意見
文化財の保存と活用	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の文章を加えてはどうか。「○地域の歴史資産を市民の財産として大切に保存し将来へ継承します。」 ● 次の文章を加えてはどうか。「○歴史文化を地域学習の教材として活用し、ふるさと意識を高めます。」
	事業者等	(意見なし)
	行政	(意見なし)
	その他	● 主要事業に、次世代につなぐために昔の AR、MR、VR を(学生が)作って残す事業を加えてはどうか。

5-2	主体	意見
文化・芸術の振興	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域単位での発表の場、交流の場という視点や内容があれば良いと考える。 ● 文化芸術の担い手として(大きな舞台も小さな舞台(センター)も)自主的・主体的に活動するという視点や内容を取り入れてはどうか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	(意見なし)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化芸術の振興は「図る」となっているが「取り組む」との違いはあるのか。用語統一を検討してはどうか。 ● 主要事業で「まちの賑わい」に絡めて普及する事業を加えてはどうか。

基本目標 2 「笑顔」輝くまち

コミュニティ

【概要】

基本方針 6-1 の市民・地域の役割として、ボランティア人材が不足していることから、人材育成の視点や活動内容の積極的な PR などの視点を追加するべきなどの意見がありました。

基本方針 6-2 の市民・地域の役割としては、学区の個性を大切という意見や、多世代・多文化を受入れた地域での話し合いや、時間をかけた基礎的コミュニティの活発化などの視点を追加するべきなどの意見がありました。また、事業者等としては、「事業所を地域に開放する」視点や、「学校との総合学習を深める」視点も追加するべきとの意見がありました。

基本方針 6-3 の市民・地域の役割として、人手不足の交通安全ボランティアを積極的に募るという視点や、他地域との連携などの視点を追加するべきとの意見がありました。また、事業者においては、ボランティア休暇を認める仕組みづくりなどの視点も追加するべきとの意見がありました。

基本方針 6-4 の市民・地域の役割として、多文化の違いを認めある視点や、海外の人を受け入れる仕組みや、留学生とのつながり活性化、大学との連携、交流イベント、日常的な声かけ・挨拶などの視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
6-1 市民自治の確立	市民・地域	○市民一人ひとりの学びを通じた多様な世代や分野、主体等によるつながりを築きます。 ○地域のニーズを把握し、将来を見据えた市民主体のまちづくりを計画的に進めます。
	事業者等	○地域の一員として地域のまちづくり活動へ主体的に関わるよう努めます。 ○地域のまちづくり活動への参加や地域との連携強化に努めます。
6-2 基礎的コミュニティの活性化	市民・地域	○コミュニティの伝統やノウハウを継承しながら、地域のつながりが維持されるような組織や運営のあり方について見直します。 ○地域の人材を生かし、地域に必要とされるコミュニティ活動の展開を図ります。
	事業者等	○町内会活動への積極的な貢献に努めます。
6-3 市民公益活動の促進	市民・地域	○市民公益活動団体、まちづくり協議会等の地縁組織、様々なコミュニティがともに協力し合いながら、まちづくりを進めます。
	事業者等	○ボランティア活動やイベント等、市民公益活動の様々な場面で連携を進めます。 ○市民公益活動や地域活動への支援・協力等、地域の一員として社会貢献に努めます。
6-4 多文化共生社会の構築	市民・地域	○お互いの違いを理解し、尊重しながら、あらゆる人が住みよい多文化共生の地域づくりを進めます。
	事業者等	○文化的背景から生じる「違い」への理解と尊重に努めるとともに、提供するサービスに関する情報の多言語化を図るなど、多文化共生の推進に努めます。

【主な意見】

6-1	主体	意見
市民自治の確立	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ボランティア人材が不足しているため、人材募集のための活動内容の情報発信を行う」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「人材育成を行う」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「ボランティア活動を気軽に体験する」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「成功事例共有(役員以外の方にも)」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「活動を積極的にPRする」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「益々まちづくりセンターの役割が重要となる。市民のニーズを大切にした取組が必要である。」という視点や内容が必要ではないか。 ● まちは人が作るもの。誰が作るか、どう作るのか、何を作るか大いに議論すべきという視点が必要ではないか。
	事業者等	● 「市民活動の支援の仕方を知ってもらう→支援拡大という流れが生まれる」という内容を記載してはどうか。
	行政	(意見なし)
	その他	(意見なし)

6-2	主体	意見
基礎的「コミュニティの活性化	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学区の個性を大切にした支援」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「地域での話し合い(多世代、多文化)を行う」という視点や内容が必要ではないか。 ● 人間社会にとって一番大切なことは基礎的コミュニティの活性化であり、時間をかけた対応が求められるという視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「事業所を地域に開放する」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「学校との総合学習を深めていく」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	● 「交付金のあり方を考えあう」という視点や内容が必要ではないか。

6-3	主体	意見
市民公益活動の促進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「交通安全のボランティア(人手不足)を積極的に行う」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「子どもが多くなってきている」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「他の地域との連携が大切」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「ボランティア休暇を活用する」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	● 「ボランティア休暇を認める仕組みづくり」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	(意見なし)

6-4	主体	意見
多文化共生社会	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外の人を受け入れるスキームがないため、これを解決する視点が必要ではないか。 ● 「留学生とのつながり(交流)を進める」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「やさしい日本語を広げる」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「大学との連携した受け皿づくり」という視点や内容が必要ではないか。 ● 現在の記載内容は、個人的な活動に留まっており、これを超える視点が必要ではないか。 ● 「外国の方々の交流、各イベントの参加の呼びかけ」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「組織的な動きにしていく」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「地域のルール(郷に入っては郷に従え)を教えることも大切」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「声かけ、挨拶をする」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「多文化文化の違いを認めあう度量が必要」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	● 「[DEI]を経営の要諦に据える(主に人事部門)」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	(意見なし)

	主体	意見
その他	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本社会がゆたかになりすぎて、人としての大切な「つながり」助けあいを忘れてきている」という視点や内容が必要ではないか。 ● 市民の役割は分かりやすいものにしなければならない。
	事業者等	(意見なし)
	行政	(意見なし)
	その他	(意見なし)

地域福祉

【概要】

基本方針 7-1 の市民・地域の役割として、「不登校に対して福祉のまちづくりの中で、スクールワーカーとのつながりの強化」に関する視点や、学区のイベントでは大学生や留学生などが手伝いに来ているため、学生とのつながりの視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
7-1 「地域力」のある まちづくり	市民・地域	○地域福祉活動に積極的に参画します。 ○地域福祉を支える一員として活動します。 ○隣近所の大切さを再認識し、地域内のコミュニケーションを進めます。
	事業者等	○行政と協働し、福祉のまちづくりを推進します。 ○地域福祉活動における協働に努めます。
7-2 福祉の総合的な 相談・支援の充実	市民・地域	○様々な福祉課題に対して、支援機関や民生委員児童委員等への相談、各種支援制度を活用し、自立生活の確保に努めます。 ○居場所を求める人に対して、地域から情報発信に努めます。
	事業者等	○地域の雇用創出に努めます。 ○単身高齢者や障害者など、住宅の確保が困難な人に対し、民間賃貸住宅への適切な入居に努めます。

【主な意見】

7-1	主体	意見
市民自治の確立	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 学区で子どもに食事とか遊び(ボール)を提供しているが、大学生の方が手伝いに来てくれて非常に助かっている(海外の学生多い)という事例がある。記載の参考としてはどうか。 ● 「不登校に対して福祉のまちづくりの中でスクールソーシャルワーカーさんとのつながり(不登校は8月末～9月に多い)を強化する」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	(意見なし)
	その他	(意見なし)

健康

【概要】

基本方針 8-1 の市民・地域の役割として、人間ドック・健康診断を受診するように促す視点や特定健診は自分を守るために必要という視点などを追加するべきとの意見がありました。

基本方針 8-2 の事業者等の役割として、医療機関のデータ利用・連携や、健康保険証とマイナンバーの紐づけを分かりやすく周知する視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
8-1 市民の健康づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが健康づくりや生活習慣病予防への関心をさらに高め、一人ひとりが自分に適した生活習慣を身につけます。 ○学校や職場等身近な人への声かけや地域での見守りを通じて、心身の不調や生活の変化に気づくことができるよう行動します。 ○予防接種や各種けん診を受診します。 ○感染症について、正しい知識を身につけ適切に行動します。 ○健康推進員は、様々な世代を対象に健康づくりや健康増進の輪を拡げ、行政と地域のパイプ役として活動します。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○自らが持つ知識や技術等を活用し、市民の健康づくりを支援します。
8-2 医療保険制度の適正運用 8-1 市民の健康づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診査や保健指導を積極的に活用するとともに、マイナポータル等で自身の保健医療情報や健康情報を確認するなど、自らの健康増進に努めます。 ○医療保険制度を安定的に持続させるため、後発医薬品の利用や適正受診に努めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが健康づくりや生活習慣病予防への関心をさらに高め、一人ひとりが自分に適した生活習慣を身につけます。 ○学校や職場等身近な人への声かけや地域での見守りを通じて、心身の不調や生活の変化に気づくことができるよう行動します。 ○予防接種や各種けん診を受診します。 ○感染症について、正しい知識を身につけ適切に行動します。 ○健康推進員は、様々な世代を対象に健康づくりや健康増進の輪を拡げ、行政と地域のパイプ役として活動します。

【主な意見】

8-1	主体	意見
市民の健康づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「人間ドック・健康診断は必ず受診するよう促す」という視点や内容が必要ではないか。 ● 市の健康診断で自分の癌が見つかった。健康に対する意識が高まった。自分の体験を他人に伝えているが、記載内容にこのような視点を取り入れてはどうか。 ● 「特定健診は自分を守る(誕生日は健康診断月)」という視点や内容が必要ではないか。 ● 生活習慣を改善する食事についての視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	(意見なし)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期高齢者について、健康アドバイスについて受診率データ報告書があれば発表して欲しい。

8-2	主体	意見
市民の健康づくり	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「医療機関がデータを利用できる」という視点や内容が必要ではないか。 ● 健康保険証とマイナンバーの紐づけが分かりにくい改善するという視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康促進員活動の充実のため報酬を予算化してほしい。

子ども・子育て・若者

【概要】

基本方針 9-3 の市民・地域の役割として、子どもの居場所や遊び場づくりについての視点や、地域の伝統行事の継承や、地域で子ども、学生、高齢者のつながりを作れるボランティア活動への参加の視点などを追加するべきとの意見がありました。また、事業者等においては、地域内での子どもと大人・高齢者との交流の場となる機会を設けるなどの視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
9-1 安心して子どもを産み育てられる支援の充実	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て相談センター等の相談窓口や、「すこやか訪問」、「乳幼児健診」等の機会を利用し、不安や心配事を解消して、情報をうまく子育てに生かします。 ○妊産婦健診を望ましい時期に受診し、妊娠期から産後や乳幼児期の健康管理に努めます。 ○地域の子育ての現状を理解し、必要に応じた協力をを行います。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の子育て支援施設は、関係機関と連携し、地域における子育て相談の窓口として相談や情報提供を行います。
9-2 就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭は子どもの豊かな育ちの基盤となることから、子どもとのふれ合いや語らいを大切に、基本的な生活習慣や社会的マナー等が身につけられるよう努めます。 ○子どもと日々向き合う子育て家庭を社会全体で支え、子どもの健やかな成長と子育て家庭の見守りに努めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○市民や地域、企業、関係団体、市等の多様な主体が連携・協力し、仕事と家庭の両立や様々な地域活動に取り組むことで、子育て家庭に寄り添った社会の形成に取り組みます。
9-3 子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○親子の交流・仲間づくり、子育て相談を行い、親子でいきいき過ごせる居場所づくりを進めます。 ○子ども・若者が地域行事に参加しやすい環境を整え、地域における子ども・若者の居場所づくりを進めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の子育て支援施設は、関係機関と連携し、地域における子育て相談の窓口として相談や情報提供を行います。 ○体験活動や社会活動の機会の提供、能力や適性に応じた職場環境の提供など、子ども・若者が自ら歩む力を育むための環境づくりを推進します。
9-4 子ども・若者を支える環境づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や家族、地域が協力して、見守り、ともに遊び学んで、愛情豊かに子どもの育ちを支えます。 ○子どもの人権と安全を守る意識を持ち、安全パトロールや見守り活動の取り組みに積極的に参加します。 ○保護者も地域でのかかわりの中で、子育てについて学びます。 ○児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合は、速やかに通告するとともに、常に子どもを虐待から守るために行動します。 ○子ども・若者の健やかな育ちを地域で見守り、支えます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域・学校や関係機関等との連携を強化し、子ども・若者の健全育成を図ります。 ○仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに取り組めます。 ○児童虐待防止等の活動に取り組めます。 ○子ども・子育て支援に積極的に協力します。

【主な意見】

9-1	主体	意見
安心して子どもを産み育てられる支援の充実	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	
	行政	
	その他	

9-2	主体	意見
就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実	市民・地域	● 「子ども若者が中心となる夏休みに夏祭りにて伝統事業の復活する」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	
	その他	

9-3	主体	意見
子ども若者や親子がいきいき過ごせる場づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「小グループによる地域行事の計画」という視点や内容が必要ではないか。 ● 広場での集いに行けば色々良いことがあるため、これを踏まえた視点や内容が必要ではないか。 ● 「ボランティア活動において、子ども、学生、地域の高齢者のつながりの場所づくりが重要である」という視点や内容が必要ではないか。 ● 子どもの遊び場づくりとして、古本等を公民館、地域のセンター等に持ち寄って交換する取組を記載してはどうか。 ● 放課後・休日に子どもから大人まで本を読むまたは雑談する居場所づくりという取組を加えてはどうか。 ● 子ども食堂機会支援、ボランティアで支援、場所づくりという取組を加えてはどうか。 ● 個人的な印象として、夏休み廃止や短縮が議論されてることが怖い。子どもには休みを取ってもらうという視点や内容を記載してはどうか。 ● 地域(町内)社会に子どもが少なく、子ども会もなくなってるという視点を踏まえてはどうか。
	事業者等	● 「地域内での子どもと大人高齢者交流の場の企画を増やす」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	

9-4	主体	意見
子ども・若者を支える環境づくり	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	
	行政	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 「他の地域の子育て支援を研究する」という視点や内容が必要ではないか。 ● 草津市にもっと子どもに対する支援があっても良いのではないか。 ● 高校生の昼食無料化を行ってはどうか。

長寿・介護

【概要】

基本方針 10-2 の市民・地域の役割として、「高齢者の買い物支援」の充実の視点を追加するべきなどの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
10-1 いきいきとした高齢社会の実現	市民・地域	○住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送るために、「自らの健康は自らでつくる」という意識を持ち、健康の保持増進および介護予防に取り組みます。 ○高齢期においても、自らの生きがいづくりに向けて、地域活動やボランティア活動等に可能な範囲で主体的に取り組みます。
	事業者等	○意欲ある高齢者の雇用に努めます。
10-2 あんしんできる高齢期の生活への支援	市民・地域	○介護が必要となった場合でも、適切なサービスを利用して、有する能力を生きかし意欲的に生活を続けます。 ○高齢期にある人が、家庭や地域で役割や居場所があり、生きがいを持って生活できるよう、お互いに見守り支え合います。
	事業者等	○地域包括ケアシステムのさらなる深化と推進に向け、多職種が相互に役割を發揮し、切れ目のない医療・介護のサービスを提供します。 ○在宅生活を支えるサービスの充実および質の向上や、介護人材の育成・確保に向けた取組を進めます。

【主な意見】

10-1	主体	意見
高 い き い き と し た 高 齢 社 会 の 実 現	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	● (介護当事者として)最近の事業者の増加には助けられおり、役割にそのような視点を踏まえてはどうか。 ●
	行政	(意見なし)
	その他	

10-2	主体	意見
の あ ん し ん で き る 高 齢 期 の 生 活 へ の 支 援	市民・地域	● 「高齢者の買い物支援」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	● 介護保険認定をスムーズにして、早く認定がおりてくるようにお願いしたい。
	その他	(意見なし)

障害福祉

【概要】

事業者等の役割として、一人暮らしの障害者に対する支援も追加するべきであるとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
11-1 共に生きる社会の 推進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの意思に基づいて、自己実現と社会参画のため積極的に行動します。 ○障害のある人の社会参加をサポートするボランティア活動等に参加します。 ○ふれあい・交流の機会に積極的に参加し、バリアフリーやノーマライゼーションの意識を高めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○障害のある人の雇用を促進し、個性と能力を生かした就労を継続的にサポートするとともに、働きやすい職場環境の整備を進めます。 ○家族へのサポート・相談の充実を図ります。 ○地域とのふれあい、交流の機会をつくります。 ○障害者福祉事業を営む事業者はニーズに即したサービス量の確保と、サービスの質の確保、向上を図ります。

【主な意見】

11-1	主体	意見
社会 共に 生きる 社会の 推進	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「一人暮らしの障害者(軽度)の方にも支援を行う」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	

基本目標3 「暮らし」支えるまち

防災

【概要】

基本方針 12-1 の市民・地域の役割として、「各町会での防災訓練に積極的に参加する」という視点や、一人で避難できない高齢者の方を近所で把握する視点などを追加するべきとの意見がありました。

基本方針 12-2 の市民・地域の役割として、消防団への協力について具体的な記載をするべきなどの意見がありました。

基本方針 12-3 の市民・地域の役割として、自主的に地域ぐるみの浚渫をすることは難しいとの意見や、「浚渫」は常用漢字ではないので、分かりやすい言葉を使用すべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
12-1 自助・共助による 防災対策の充実	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○防災備蓄や住宅の耐震補強など、家庭での防災対策を進めます。 ○自主防災組織を結成し、災害に強い地域づくりを進めます。 ○平時からハザードマップ、地区防災計画、学区・地区別の防災マップを確認し、家庭内であらかじめ避難所・避難経路の話し合いを進めます。 ○共助の基本姿勢として、災害発生時において、被災していない場合は、ボランティア活動への協力等に努めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者等での防災組織の設置等に努めます。 ○災害発生時のボランティア活動への協力等に努めます。
12-2 災害に強いまち づくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団への入団や、協力を通じて地域防災力を高めます。 ○防災訓練や防災体制を構築し、災害に強いまちづくりを進めます。 ○平時から地域の訓練、防災学習を通して、情報収集、避難方法等を学び、災害から身を守るための備えを進めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○防災協定等により災害発生時における市との協力体制(物的・人的・技術的支援)を構築します。 ○消防団活動への積極的な参加に努めます。
12-3 治水対策の推進 12-1 自助・共助による 防災対策の充実	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ぐるみで浚渫(しゅんせつ)・草刈り等の活動(河川愛護活動等)に自主的に取り組みます。
	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○防災備蓄や住宅の耐震補強など、家庭での防災対策を進めます。 ○自主防災組織を結成し、災害に強い地域づくりを進めます。 ○平時からハザードマップ、地区防災計画、学区・地区別の防災マップを確認し、家庭内であらかじめ避難所・避難経路の話し合いを進めます。 ○共助の基本姿勢として、災害発生時において、被災していない場合は、ボランティア活動への協力等に努めます。

【主な意見】

12-1	主体	意見
自助・共助による防災対策の充実	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人暮らしの独居者の人もいるため、「家庭」ではなく「世帯」と記載すべきではないか。 ● 「家庭内」ではなく「家庭内等」にすべきではないか。 ● 「被災していない場合」の主語がはっきりしない。 ● 「学区での防災組織」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「季節による防災活動を考える(夏は川など)」という視点が必要ではないか。 ● 消防団には、外国人に対する災害時の避難のための機能別分団があり、このことを踏まえた視点や内容が必要ではないか。 ● 「各町内での防災訓練に積極的に参加する」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「家庭内等で防災グッズを用意・見直しする」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「消防団の高齢化・減少で地域の防災力が低下している」という視点を踏まえる必要があるのではないか。 ● 身近に感じにくい地域防災の実態を知るためにどうすれば良いかという視点を踏まえる必要があるのではないか。 ● 被災した場合のボランティア活動は各自治会でやるのか、コミュニティでやるのかの整理が必要ではないか。 ● マンション住民の消防団勧誘がないという点を踏まえる必要があるのではないか。 ● 「近所の一人で活動できない高齢者をチェックする」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● どこに行けば地域防災のコミュニティとつながるのか。当事者意識をどうしたら良いのかという視点や内容が必要ではないか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災グッズの配布・推進を図るという取組が必要ではないか。 ● みんなに届く情報発信(ラインの活用など)という取組が必要ではないか。
	その他	(意見なし)

12-2	主体	意見
災害に強いまちづくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消防団への協力」とあるが具体的に何をしたらいいのかわからないため理解できるような記載に改めてはどうか。 ● 「備蓄倉庫の拡充」という内容が必要ではないか。 ● かまどベンチを使う企画を取組等で記載してはどうか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時の資源(井戸などの水源など)を使用できるように資源マップを作るという取組を記載してはどうか。 ● 「グリーンインフラを生態系保全と関連させて整備を推進する」という視点や内容が必要ではないか。
	行政 その他	(意見なし)

12-3	主体	意見
治水対策の推進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域ぐるみで浚渫～自主的に」は 無理だと思うため、記載を改めてはどうか。 ● 「浚渫」を地域で行うのか。市民が川底を掘る危険性を考えると記載を改めてはどうか。 ● 「浚渫」は常用漢字ではないため、使用するかどうかを検討してはどうか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	
	その他	

生活安心・防犯

【概要】

基本方針 13-1 の市民・地域の役割として、個人が情報の具体的な入手先を知り、日ごろから認識しておく視点を追加するべきとの意見や、語彙の使い方に関する指摘がありました。

基本方針 13-2 の市民・地域の役割として、特殊詐欺（ネット犯罪やオレオレ詐欺など）に気を付けるという視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
13-1 暮らしの安心の確保	市民・地域	○複雑多様化する日常生活の様々な課題に対応できるように、情報を収集・共有し、必要な知恵と知識を身につけて、トラブルを未然に防止します。 ○不安や不審に感じることは、市民相談室等の相談機関に相談します。
	事業者等	○消費者問題等の解決に向けた取組を図ります。 ○国・県や関係機関および専門家と連携して、消費生活等に関する情報の共有を図ります。
13-2 犯罪のないまちづくり	市民・地域	○一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という防犯意識を持ちます。 ○家庭や地域でルールやモラルを再確認し、規範意識を高めます。 ○町内会、学区等で地域防犯活動の実施や参加・協力をするとともに、町内会で防犯灯、防犯カメラ等の防犯設備の設置に取り組みます。
	事業者等	○店舗等における青少年健全育成の取組や防犯用品の販売等を行います。 ○社会貢献として防犯活動に参加・協力します。

【主な意見】

13-1	主体	意見
暮らしの安心の確保	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民相談室等で何が相談できるのかわからないため、具体的な記載内容を追記してはどうか。 ● 「どこに行ったら情報が手に入るか、個人がアンテナを張る」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「相談します」とあるが義務ではないため記載を改めてはどうか。 ● 「トラブルを未然に防止します」ではなく「防止に努めます」に記載を改めてはどうか。 ● 「複雑多様化」は「多種多様」の方が良いのではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	
	その他	

13-2	主体	意見
犯罪のないまちづくり	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「町内会などで」とあるが、防犯灯・防犯カメラは町内会が(町内会の予算で)つけるものなのか。市民・地域の役割に記載することが適切かを検討してはどうか。 ● 「ネット犯罪に気をつける」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「オレオレ詐欺に気をつける」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「事例を通じての出前講座で特殊詐欺減少を図る」という取組を記載してはどうか。
	行政	(意見なし)
	その他	

環境

【概要】

基本方針 14-1 の市民・地域の役割として、「活動の情報発信」、「里山の保存維持」、「資源の利活用」などの視点を追加するべきなどの意見がありました。また、事業者についてはネイチャーポジティブの視点を追加するべきとの意見がありました。

基本方針 14-2 の事業者等の役割として「生物多様性を含む事業の情報開示」についての視点を追加するべきとの意見がありました。

基本方針 14-3 の市民・地域の役割として、「資源循環型社会を身近に感じること、知ること」の視点などを追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
14-1 良好な環境の保全と創出	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○在来生物をはじめとした生態系を大切にし、自然を守り育てる環境保全活動に参加します。 ○近隣の方への騒音に配慮するなど、生活環境の保全に自ら取り組みます。 ○日頃から環境に興味・関心を持ち、環境学習や啓発イベント等へ主体的に参加するとともに、地域資源を活かした環境学習活動を進めます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○生き物の生育環境等に配慮した敷地内の環境の整備に努め、地域と連携した社会貢献活動に取り組みます。 ○環境マネジメントシステムの取得に努めるとともに、自ら率先して環境汚染等の未然防止に取り組み、地域に配慮した事業活動を心がけます。 ○事業所内において環境づくりについての啓発を進め、地域の環境を大切にする活動に取り組むとともに、行政が取り組む環境学習に積極的に協力します。
14-2 脱炭素社会への転換	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電など再生可能エネルギーの利用を進めます。 ○省エネ製品等への買換え、公共交通機関等の利用、クールビズ・ウォームビズ、スマートドライブ、環境にやさしいライフスタイルの転換など「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)に参加します。 ○気候変動の影響に関心を持ち、自らも熱中症や気象災害対策など適応策に取り組みます。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ○事業活動における省エネルギー対策(省エネ診断・機器の更新・サービスの転換・ICT化など)および再生可能エネルギーの利用を進めます。 ○気候変動の影響による事業活動のリスクマネジメントならびに適応ビジネスの展開に向けた取組を進めます。
14-3 資源循環型社会の構築	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの発生抑制(リデュース)や再使用(リユース)の取組により、ごみの減量を進め、資源循環型のライフスタイルの転換に取り組みます。 ○ごみ出しのルールを守り、分別の徹底を図るとともに、ごみの資源化に取り組みます。 ○道路や公園などへのポイ捨てごみなどの発生抑制や回収活動を行い、地域の環境美化に取り組みます。

	事業者等	<p>○簡易包装や耐久性の高いまたはリユースしやすい製品開発など事業活動におけるごみの発生抑制や再使用の取組により、ごみの減量を進めます。</p> <p>○ごみの分別を進め、資源化に取り組みます。</p> <p>○資源循環型社会の構築を担う役割・社会的責任を認識し、資源循環型の事業活動に取り組みます。</p>
--	------	---

【主な意見】

14-1	主体	意見
良好な環境の保全と創出	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「活動の情報発信」という視点や内容が必要ではないか。 ● グリーンインフラについて言及してはどうか。 ● 「里山の保存維持」という視点や内容が必要ではないか。 ● 生活環境と自然環境の内容が混ざっているため、記載内容の整理を行ってはどうか。 ● 志津里山公園はみなさんの楽しい活動場所となるため、記載内容に取り入れてはどうか。 ● 環境学習と利活用は一体である点を踏まえて記載内容を検討してはどうか。 ● 「資源の利活用」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「環境保全活動への関り方を学ぶ」という視点が必要ではないか。 ● ネイチャーポジティブを積極的に推進していないのはなぜか。推進するならば記載してはどうか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境学習の実施場所の整備の取組を記載してはどうか。 ● 野外活動センターを作る取組を記載してはどうか。
	その他	(意見なし)

14-2	主体	意見
脱炭素社会への転換	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電は本当に環境にやさしいのかという観点から記載内容を検討してはどうか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者にてできることに「生物多様性を含む事業の情報開示に努めます」を入れて欲しい。 ● 水素インフラを積極推進していないのはなぜか。推進するならば記載してはどうか。
	行政	(意見なし)
	その他	

14-3	主体	意見
資源循環型社会の構築	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「資源循環型社会を身近に感じること、知ること」を記載してはどうか。 ● フリーマーケットのように、食器や服など並べて、それを欲しい人は好きに持ち帰りしてくださいという企画があり、集まってきた人も良い人が多かった。このような取組を記載してはどうか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「資源循環の実態の見える化」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	

交通

【概要】

基本方針 15-1 の市民・地域の役割として、交通に関する困りごとやあったらよいと思うことについて話し合う場をつくるなどの視点を追加するべきとの意見がありました。また、多様な交通手段には「エコな手段」や「ライドシェア」も含まれるのではないかという指摘がありました。また、事業者等の役割としては、地域の実情や利用者特性に合ったサービスを検討するという視点などを追加するべきとの意見がありました。

基本方針 15-2 の事業者等の役割として、学生や市役所との連携した交通安全教室の推進などを追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
15-1 公共交通ネットワークの構築	市民・地域	○公共交通や自転車・徒歩なども含めた多様な交通手段を積極的に利用します。
	事業者等	○官民や交通事業者間の連携を強化し、公共交通機関の維持、活性化に努めます。 ○通勤などの移動時における公共交通の利用促進に努めます。
15-2 交通安全対策の推進	市民・地域	○交通安全について学ぶ取組等に積極的に参加します。 ○交通安全の確保を自らの課題として捉え、地域の実情に応じた交通安全や自転車安全安心利用教育を推進します。
	事業者等	○官民や事業者間の連携を図り、各々の立場や地域の実情に応じた交通安全活動や自転車安全安心利用に取り組みます。

【主な意見】

15-1	主体	意見
交通ネットワークの構築	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「多様な交通手段」は、「エコな手段」と記載を改めてはどうか。 ● 「高齢化にともないライドシェアを増やす」という視点や内容が必要ではないか。 ● 都市交通という面から、まめバスの重要性がより拡大するから市民の声を聞くべきであるという観点を踏まえた記載内容を検討してはどうか。 ● 交通に関する「あったらいいな」を話し合い共有するという視点や内容を記載してはどうか。 ● 「交通に関する困りごとを共有し話し合う」という視点や内容を記載してはどうか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況での自家用車への「過度」な「依存」はないと考えている。記載を検討してはどうか。 ● 「現状」過度な依存は本当に過度か？必要があるから車を使っており依存とされるのは心外である。 ● 「過度な自家用車依存意識」は不要では？公共が不便だから便利な車を使っている ● まめバスの路線を増やしてほしい。南草津東側や玉川、高穂にはバスが来ない。 ● 「実情に合わせた公共交通の整備」という視点や内容が必要ではないか。 ● バス路線の見直しを記載してはどうか。利用者がいないのに止まるバス停があるので、時間帯に合わせてショートカットやルートを変えられないか。 ● 「お年寄りが多いけど乗り継ぎで不便」という視点を踏まえた記載内容を検討してはどうか。 ● 笠縫東まめバス、まめタク、使いづらいため、これを踏まえた記載内容を記載してはどうか。 ● 公共交通の利用促進には、各種駐車スペースの提供が必要という点を踏まえ記載内容を検討してはどうか。 ● まめバス・まめタクについてコース選定について地域の声を反映して欲しい。 ● 業者の立場からまめバスコース選定について地元の声を尊重して欲しい。 ● 利用者特性に合ったサービスが良いという視点を踏まえて記載内容を検討してはどうか。 ● 「公共のニーズを出しあえる話し合いの場が必要」という視点や内容が必要ではないか。 ● 駐車場が少ない。気軽に止められるところが必要。ピワイチもあるため、その視点を踏まえた記載を検討してはどうか。 ● 「従業員、市民の困りごと解決、あったらいいなを実現するサービス商品を開発する」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 路上駐車が多いため、南草津駅前駐車場を増設して欲しい。
	その他	(意見なし)

15-2	主体	意見
交通安全対策の推進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「交通安全ルールの啓発(自転車のヘッドライトを点ける)」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「推進します」を「受講します」としてはどうか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生と大学生が協力して能力アップするという視点や内容を検討してはどうか。 ● 事業者等によるシニアの自転車の交通安全教室を開催して欲しい。 ● 交通安全のVRブースを市役所や市民センターに設置し、大人が見せて子どもがコンテストで作るような取組を記載してはどうか。 ● 草津市 LINE 公式アカウントの活用を記載してはどうか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通課と道路課と合わせて協力するという視点を踏まえた記載を検討してはどうか。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 意識の推進といったソフト面だけでなく、具体的にハード面で道路上でできる安全対策や仕組みも必要なのではないか。

道路

【概要】

市民・地域の役割として、市民活動の具体的な内容として、クリーン作戦や環境整備を記載すべきなどの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
16-1 安全・安心な道路の整備	市民・地域	○道路清掃や草刈など、道路を守り大切に利用するための市民活動を展開します。 ○市民や地域の意見・要望を集約し、「地域の道づくり」について提案します。
	事業者等	○人にやさしく、安全で快適な利便性の高い道路空間の確保や維持管理等に関して、産官学連携による相互の研究を推進します。

【主な意見】

16-1	主体	意見
交通ネットワークの構築	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「市民活動を展開」の「展開」の定義は何か。 ● 「地域の道づくりについて提案します。」とあるが、提案は市民の仕事なのか。ここに記載することが適切かを検討してはどうか。 ● 共有地の清掃等で出たゴミ回収のしくみ・サービスの簡易化に取り組んではどうか。 ● 「市民や地域の意見」の記載を「住民や地域の意見」改めてはどうか。 ● 草津駅前より立命館大学、玉川高校、玉川中学校の生徒の自転車通学路の整備に取り組んではどうか。 ● 市民活動として、クリーン作戦環境整備を記載してはどうか。 ● 市民活動の有償化(←参加する人増える)。やってくれる人が今後減るのでなりたない可能性大。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● コンクリートのはがれているところの補修、歩道の幅を広くする取組を行ってはどうか。 ● 事業者として、車道と歩道のライン区別をしっかりとしてはどうか。 ● 事業者として、南草津駅前を一方通行に時間を決めて欲しい。 ● 意識高揚以外の対策や仕組みはないのか、検討してはどうか。
	行政	● 冠水の改善進捗がわかる情報発信アプリ
	その他	● 意見をどこに相談すればよいかかわからない。

上下水道

【概要】

市民・地域の役割として、節水協力や雨水利用などの視点や、市民が積極的に施設を見学し上水道に関する理解を深める視点などを追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
17-1 水の安定供給	市民・地域	○水源である琵琶湖の水質を守り、水を大切に生活に努めます。 ○給水装置を適切に管理します。
	事業者等	○水道施設の適切な管理を行うとともに、水源である琵琶湖の水質を守って事業を行います。
17-2 下水道の安定運営	市民・地域	○琵琶湖を取り巻く水環境を守るために、下水道に接続し、適切に使用します。 ○宅内の排水設備を定期的に清掃します。
	事業者等	○下水道に接続し、排水設備の適切な管理を行うとともに、水源である琵琶湖の水質を守って事業を行います。

【主な意見】

17-1	主体	意見
水の安定供給	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 節水協力や雨水利用といった視点や内容が必要ではないか。 ● 水を大切に生活のため、現場(浄水場)を見るといった取組を検討してはどうか。 ● 上水道の施設の見学ができると良い。市民・地域としても見に行き知ることが大切だと考える。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 水の安定供給についての情報提供があれば良い。教育のページで、オンライン(VR)やリアルで見れるイベントがあれば意識UPにつながる。
	行政	(意見なし)
	その他	

基本目標4 「魅力」あふれるまち

農林水産

【概要】

基本方針 18-1 の市民・地域の役割として、地場産物の理解を深めるために農業体験を行う視点を追加するべきとの意見がありました。また、事業者等の役割としては、郷土料理の啓発や推進の視点や草津市公式 LINE との連携の視点などを追加するべきとの意見がありました。

基本方針 18-2 の事業者等の役割として、「地域産の魚介農作物を使ったメニューを出すお店の情報をホームページで発信する」などの記載を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
18-1 農業の振興	市民・地域	○地場産物の購入(消費)に努めます。 ○地場産物に親しむとともに、その魅力を広めます。
	事業者等	○安定した生産量の確保、消費者ニーズに応じた生産に努めます。 ○地場産物について、積極的に情報発信を行います。 ○地場産物の需要・販路拡大に努めます。
18-2 水産業の振興	市民・地域	○地場産物の購入(消費)に努めます。 ○草津の水産業・水産物に親しむとともに、その魅力を広めます。
	事業者等	○漁業環境の保全・確保につながる取組を行います。 ○安定した漁獲・生産量の確保に努めます。

【主な意見】

18-1	主体	意見
農業の振興	市民・地域	● 「貸農園で農業体験」といった記載をしてはどうか。
	事業者等	● 郷土料理の啓発活動・推進。動画で紹介し、今のうちに継承する取組を進めてはどうか。 ● 栽培キットの販売の取組を進めてはどうか。 ● ネット販売等も活用して、南草津エリアでもっと地場の野菜を買いやすくしてほしい。 ● 草津市 LINE 公式アカウントの活用の取組を記載してはどうか。 ● レシピの提供の取組を記載してはどうか。 ● 家庭菜園の活用の取組を記載してはどうか。
	行政 その他	(意見なし)

18-2	主体	意見
水産業の振興	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	● 地場産の魚介農作物を使ったメニューを出すお店の情報をホームページで発信する取組を記載してはどうか。
	行政	(意見なし)
	その他	

商工観光

【概要】

基本方針 19-1 の事業者の役割として、住民と連携したにぎわいづくりや、イベント開催、レンタルサイクルなどの交通基盤整備の視点を追加するべきとの意見がありました。

基本方針 19-2 の市民・地域の役割として、地元の良い資源を発信するなどの視点を追加するべきとの意見がありました。事業者等の役割としては、市民活動団体との連携による新サービスの開発の促進などの視点を追加するべきとの意見がありました。

基本方針 19-4 の市民・地域の役割として、ホテル以外に泊まれるまちとして、滞在型観光の観光地として、まちを周遊できるなどの視点を追加するべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
19-1 中心市街地の活性化	市民・地域	○まちづくりの担い手として、中心市街地でのイベントへ積極的に参加します。 ○中心市街地のまちづくりを担う人材を応援します。
	事業者等	○都市再生法人を中心とした中心市街地のエリアマネジメント活動に参加します。 ○中心市街地のまちづくりを担う人材を応援します。
19-2 商業の振興	市民・地域	○身近な商業施設で買物や余暇活動を楽しみます。
	事業者等	○自らの創意工夫により経営基盤を強化し、良質な商品やサービスの安定した供給を行うとともに、市民の良好な生活環境に配慮した事業展開を行います。 ○草津商工会議所をはじめとする地域経済団体は、関係団体と連携しながら、事業者の成長段階に沿った支援を行うとともに、商業振興のための事業を行います。
19-3 工業の振興	市民・地域	○地域の企業について理解を深めるとともに、地域産業の振興に協力します。
	事業者等	○くさつビズサポやインキュベーション施設等を活用して起業にチャレンジします。 ○産学連携や企業間連携による新産業の創出や新たな取組を展開します。
19-4 観光の振興	市民・地域	○地域の観光資源についての理解を深めて、草津の魅力を再発見します。 ○SNSをはじめとする様々な媒体を活用して、草津の魅力を広めます。
	事業者等	○観光に関する多様な需要に応え、良質なサービスを提供することにより、観光客の満足度の向上に努めます。 ○ここでしか体験できない草津ならではの着地型観光の展開を図ります。 ○地場製品の積極的な活用に努めます。
19-5 勤労者福祉の向上	市民・地域	○元気に働き、安定した日常生活を送ることができるよう、職場や家庭、地域で支え合いながら、安心して暮らせる社会づくりに取り組みます。
	事業者等	○仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けて、働きやすい環境づくりに取り組みます。 ○地域の勤労者福祉団体は、中小企業勤労者等に対する福利厚生等の充実に取り組みます。

【主な意見】

19-1	主体	意見
中心市街地の活性化	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「住民の方と連携した賑わいづくりを進める」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「パークアンドライド、レンタサイクルなど基盤の整備を進める」という視点や内容が必要ではないか。 ● 「小学生達が体験できるイベント開催(例えば田植体験、芋堀り体験などの農業体験)」という取組を記載してはどうか。
	行政	(意見なし)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 「駐車場がない(協力しようとしてもできない人もいる)」という視点が記載内容には必要ではないか。 ● 市として面として進めていく必要がある。

19-2	主体	意見
商業の振興	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政との連携として、地元の良いモノを「今日的」にアレンジして発信(草津焼、ホンモロコ、クリスマスブーツ、赤いちゃんちゃんこなど…)していくという視点や内容が必要ではないか。 ● 「お店、イベントなどを SNS で情報発信して活性化する」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	● 「事業者と市民活動団体の連携で新サービス、新商品開発を進める」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	● 行政がもっと情報発信をする必要がある。

19-3	主体	意見
工業の振興	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	● 「売るだけの事業から、地域とともに視点の変換」という視点や内容が必要ではないか。
	行政	(意見なし)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな工業地域の創出が求められていると考える。 ● 用途地域の見直しが必要であると考え。

19-4	主体	意見
観光の振興	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ホテル以外に「泊まれる」まちに」といった視点や内容が必要ではないか。 ● 「滞在型(ゲストハウス)の観光にして、まちを周遊できるように」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	
	その他	

都市形成

【概要】

基本方針 20-1 の事業者等の役割として、行政や地域と連携したまちづくりの視点も追加すべきとの意見がありました。

基本方針 20-2 の市民・地域の役割として、子ども・若者・高齢者・障害者などあらゆる人の立場の視点を追加すべきとの意見がありました。

基本方針 20-3 の市民・地域の役割としては、次世代に残したい風景を考えるなどの視点を追加すべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
20-1 都市と住環境の 質・魅力向上	市民・地域	○地域の特性に応じた、うるおい豊かでだれもが快適に暮らせる良質な住宅・住環境の創出、保全、充実に努めます。
	事業者等	○市街地整備・住宅開発において、ゆとりとうるおいのある住環境づくりに努めます。
20-2 まちなかの魅力 向上と地域再生 の推進	市民・地域	○“まちなか”の魅力をつくる主役となって、まちづくりに取り組みます。 ○人口減少や高齢化が進行している郊外部においても持続可能なまちづくりを進められるよう主役となって、まちづくりに取り組みます。
	事業者等	○まちなかの魅力向上に繋がるような事業を展開します。 ○郊外部においても持続可能なまちとなるような事業を展開します。
20-3 良好な景観の保 全と創出	市民・地域	○地域の景観づくりの主体となって、次代を担う子どもたちとともに地域資源を生かした景観づくり活動に努めます。
	事業者等	○にぎわいや活力を感じられるまちの景観づくりに向けて、事業活動や屋外広告物の掲出等における景観への配慮に努めます。

【主な意見】

20-1	主体	意見
都市と住環境の 質・魅力向上	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 50-100年後の未来のマンションの姿を想像してみる(人口、老朽化、改修、リノベーション)という視点を踏まえ、記載内容を検討してはどうか。 ● 「人口減が予想される社会において子どもから高齢者まですべての人が満足できる住環境を目指すべき」という視点や内容が必要ではないか。 ● 高齢化によりまちづくり活動が立ち行かなくなるという点を踏まえた記載内容を検討してはどうか。 ● 「○地域の空き家情報、防犯や防災の点から危険性のありそうな情報があれば行政に届ける」という役割を記載してはどうか。 ● 「長期優良住宅」をわかりやすい用語にして欲しい。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● 「空き家の有効利用の活性化と研究」という取組を記載してはどうか。 ● 「駅前飲食店昼間活用(サロン、遊び場、子ども食堂)」という取組を記載してはどうか。 ● 「行政と連携した都市計画、市街地整備、住宅開発」という取組を記載してはどうか。 ● 「○住宅開発時はその後のまちづくりがスムーズにすすむよう、まちづくり協議会加入、町内会の新設について行政と相談する。」という役割を記載してはどうか。 ● 「都市計画の公社や団体との意見交換・行政懇談会」という取組を記載してはどうか。

	行政	(意見なし)
	その他	

20-2	主体	意見
まちなかの魅力向上と地域再生の推進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民・地域も車いすで買い物、病院、市民センター、食堂、喫茶といったまちなかウォーカブルやってみてはどうか。 ● 「○子ども・若者・高齢者・障害者あらゆる人の立場に立って持続可能なまちづくりに取り組みます」という役割を記載してはどうか。 ● 「ウォーカブル」をわかりやすい用語にして欲しい。 ● 「滞在快適性」をわかりやすい用語にして欲しい。宿泊、仕事、遊びのことなのか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	
	その他	

20-3	主体	意見
良好な景観の保全と創出	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「古い伝統的な建物の維持活用、古民家カフェの維持費用、サロンの補助」という取組を記載してはどうか。 ● 草津市は緑化ゾーン、緑の多い公園を長期計画にて拡大すべきであるという視点や内容を踏まえた記載内容としてはどうか。 ● 「○次世代に残したい風景を考える機会を作ります。」という役割を記載してはどうか。 ● 「ゴミ拾い運動の啓発」という視点や内容が必要ではないか。
	事業者等	● 琵琶湖岸には商業施設を作らない
	行政	(意見なし)
	その他	

公園・緑地

【概要】

基本方針 21-1 の市民・地域の役割として、「公園施設での活動を多くの人に知ってもらえるように広報を行う」という視点を追加すべきとの意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
21-1 ガーデンシティ の推進	市民・地域	○日頃から、様々な場面で公園の利活用を図るとともに、利用者の立場で公園整備に参画します。 ○公園の維持管理に対して積極的に役割を果たします。
	事業者等	○公園整備、管理のあり方について研究、実践を行います。
21-2 草津川跡地の空間 整備	市民・地域	○利用者の立場で草津川跡地の空間整備に参画します。 ○公園運営に対し、市民活動やガーデニング等に積極的に関わります。
	事業者等	○草津川跡地の空間整備のあり方について研究、実践を行います。

【主な意見】

21-1	主体	意見
ガーデン シティの 推進	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「草津川の草刈り、琵琶湖ネット草津の活動が多くの人に知ってもらえるよう広報を行う」という内容が必要ではないか。 ● ガーデンシティという言葉が唐突すぎるため、記載内容や方法を検討して欲しい。 ● 地域にある小さい公園の使い方をもっと考えるべき。屋根ある場所を作るとかしないと使えないという視点を踏まえた記載内容を検討してはどうか。 ● 町内の公園の草刈り支援をしてもらいたい。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● ガーデンシティは既存の公園等を変えていくのか新規でそのような場所を作るのか。いまからやるならバックキャストした都市計画という視点を踏まえた記載内容を検討してはどうか。 ● 公園を平地に作って欲しい。坂があるといけない人・行きにくい人がいるので。
	行政	(意見なし)
	その他	

21-2	主体	意見
草津川 跡地の 空間 整備	市民・地域	(意見なし)
	事業者等	● 草津川跡地にぜひとも防火水槽、できれば耐震性能を持ったものを事業者主導で設置して欲しい。
	行政	(意見なし)
	その他	

情報・交流

【概要】

基本方針 22-1 の各主体の役割について、様々な SNS や QR コード、講習会の実施など、多様な発信手段を様々な人が理解できるようにする取り組みを進めることについての意見がありました。また、若者、子ども、外国人などあらゆる人々に情報を届け、交流を行うことについての意見がありました。

基本方針 22-2 の市民・地域の役割として、高齢者、障害者、若者、古くから住んでいる人、新しい人、大学生、大学、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) など連携すべき具体的な対象についての意見がありました。

【原案】

基本方針	主体	役割
22-1 まちづくり情報の提供の充実	市民・地域	○まちづくり活動や市の魅力など、主体的な情報発信に努めます。
	事業者等	○市民公益活動団体等や学生との協働により効果的な情報発信に努めます。
22-2 多様な連携・交流の展開	市民・地域	○交流・学習やまちづくりの社会実験等への参加を通じて、活気あふれるまちづくりに関わります。
	事業者等	○交流・学習やまちづくりの社会実験等を通じて、学術的知見や専門知識を活用し活気あふれるまちづくりに関わります。 ○経済活動や地域との交流を通じて、地域の活性化に協力します。

【主な意見】

22-1	主体	意見
まちづくり情報の提供の充実	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● SNS(インスタ、tiktok を含む)の発信でなにか特典のようなものを付けるという取組を記載してはどうか。 ● 市民や地域が関わる情報誌をもっと魅力的なものにするといった取組を記載してはどうか。 ● 「どんな情報が若者や子どもに必要なのかを考える、調べる」といった視点や内容が必要ではないか。 ● 「情報を魅力あるものに発信する」といった視点や内容が必要ではないか。 ● 滋賀県一の活力ある街を全国一にする研究を取組として記載してはどうか。 ● まちづくり活動を次世代に発信するという取組を記載してはどうか。 ● 外国人も含めあらゆる人に情報が伝わる工夫や配慮が必要。高齢者にもやさしい「やさしい日本語」を取組として記載してはどうか。
	事業者等	● 草津周辺の QR コード案内を掲載する取組を記載してはどうか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報くさつのデザイン変更に関する取組を記載してはどうか。 ● 草津市 LINE 公式の使い方講習会の取組を記載してはどうか。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 「シティセールス」を分かりやすい用語にして欲しい。何をセールスするのか等が分かるようにするか言い換え等を検討してはどうか。 ● 学校で学校ごとの子ども版市役所 HP をつくと地域の仕組みがわかるかもしれない。

22-2	主体	意見
多様な連携・交流の展開	市民・地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 「立命館大学生との交流を子どもから大人まで行い、交流により文化、歴史、スポーツ等のより充実した社会を目指す」という視点や内容を記載してはどうか。 ● 「学生のボランティア、事業、イベント等を積極的に受け入れる」という視点や内容を記載してはどうか。 ● 「高齢者・障害者・若者・古くから住んでいる人・新しい人の交流」という視点や内容を記載してはどうか。
	事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ● UDCBK で企業から一般市民にも役立つ情報セミナーを開催する取組を記載してはどうか。 ● 国際交流の場と働く場を提供するという取組として記載してはどうか。 ● 共同研究など積極的に協力するという取組を記載してはどうか。 ● 学生とのまちづくり社会実験等に参加して活気をつける取組を記載してはどうか。 ● 「人が集まる観光交流実験やアクティビティを実践する」という視点や内容を記載してはどうか。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ● アーバンデザインセンターがもっと活かされるよう開館時間・曜日を考えて欲しい。 ● 「まちづくりに参加しやすいプラットフォーム」をわかりやすい表現にして欲しい。具体的にわかるように。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 「共創型」をわかりやすい用語にして欲しい。「競争型」ではないのか。 ● 「アーバンデザインセンター運営事業」をもっとわかりやすい用語にして欲しい。

基本目標 5 「未来」への責任

行財政マネジメント

【概要】

基本方針 23-1 から 23-2 を通じて、他市や外郭団体、ボランティアなど、市役所以外の関係者の能力向上や連携強化を重要視する意見が複数出ました。

【原案】

基本方針	主体	役割
23-1 市民から信頼される市政運営	市民・地域	○広く市政に関心を持ちます。 ○健全で持続可能な財政運営が維持できているかをチェックします。
	事業者等	○市政情報の公開等によって得た内容は、適正に利用します。
23-2 職員力の向上	市民・地域	○窓口等において、CS(市民満足)向上につながる対応ができているかチェックします。 ○市役所や職員に対し積極的に意見を伝えます。
	事業者等	○職員力の向上に役立つセミナー等に関する情報を発信します。
23-3 行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現	市民・地域	○市民サービス向上のための行政事務の効率化が図られているかをチェックします。
	事業者等	○公民連携を視野に入れた事業展開を図ります。

【主な意見】

23-1	主体	意見
市民から信頼される市政運営	市民・地域	● 「○広く市政に関心をもちの後に、必要ならば意見する、声をあげる」を役割として追記する。
	事業者等	● 「持続可能な行財政を保つため、他府県民の滞在時間を長くする。観光業とコラボする。」といった視点を踏まえた役割を記載してはどうか。
	行政	● ふるさと納税を取る取組を進めて欲しい。
	その他	(意見なし)

23-2	主体	意見
行財政マネジメント	市民・地域	● まちづくりセンター等の出先機関にて対応が良くない例が散見されるため、情報提供等を行うという視点や内容を記載してはどうか。 ● 職員に必要な知識が何かを行政と意見交換する(各種団体など)という役割を記載してはどうか。
	事業者等	(意見なし)
	行政	● 他市との交流を進めて職員の能力を向上させて欲しい。 ● ボランティア活動への参加に対して評価をするシステムを作ってはどうか。職員はボランティアを使うことばかりで、ボランティアに参加することは少ない。 ● 外郭団体ではあるが、まちづくり協議会の事務局員の資質向上を目指して欲しい。
	その他	(意見なし)

その他

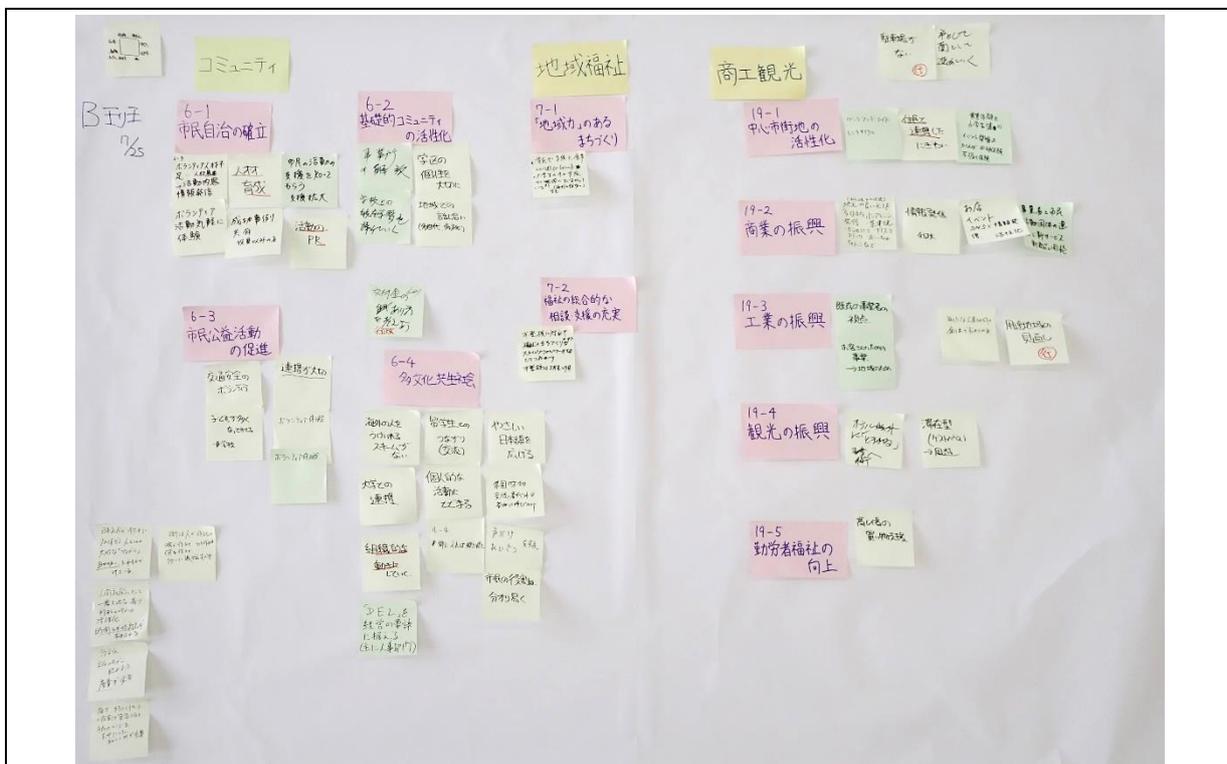
【主な意見】

主体	意見
市民・地域 事業者等	(意見なし)
行政	<ul style="list-style-type: none">● 草津市総合計画を学校で勉強するとまちづくりを知るきっかけになりそうである。
その他	<ul style="list-style-type: none">● 冊子になるなら課の QR 掲載。関連の事業のページへ飛べる QR があるとわかりやすい。● 「誰に」「誰が」等で主語がないため、伝わりやすい文章にすべきだと考える。

各グループのワークシート



A グループのワークシート



B グループのワークシート

健康

- 8-1 秋の健康づくり
 - 健康診断の受診率向上
 - 健康講座の開催
 - 人間ドック受診
 - 健康相談の開催
 - 健康相談の開催
 - 健康相談の開催
 - 健康相談の開催
 - 健康相談の開催
- 8-2 互食保険制度の適正運用
 - 健康相談の開催
 - 健康相談の開催

子ども・若者

- 9-1 若者の生活支援
 - 若者の生活支援
- 9-2 就労前の子どもの生活支援
 - 就労前の子どもの生活支援
- 9-3 子ども・若者の生活支援
 - 子ども・若者の生活支援
- 9-4 子ども・若者の生活支援
 - 子ども・若者の生活支援

長寿介護

- 10-1 高齢者の生活支援
 - 高齢者の生活支援
- 10-2 高齢者の生活支援
 - 高齢者の生活支援
- 10-3 高齢者の生活支援
 - 高齢者の生活支援

公園緑地

- 21-1 公園緑地の推進
 - 公園緑地の推進
- 21-2 草津川跡地の空間整備
 - 草津川跡地の空間整備

障害福祉

- 11-1 障害者の生活支援
 - 障害者の生活支援

Cグループ 7月25日(木)

Cグループのワークシート

防災

- 12-1 自助・共助による防災対策の充実
 - 自助・共助による防災対策の充実
- 12-2 災害に強いまちづくり
 - 災害に強いまちづくり
- 12-3 治水対策の推進
 - 治水対策の推進

生活安心・防犯

- 13-2 犯罪のないまちづくり
 - 犯罪のないまちづくり
- 13-1 暮らしの安心確保
 - 暮らしの安心確保

環境

- 14-1 自然環境の保全と創出
 - 自然環境の保全と創出
- 14-2 脱炭素社会への転換
 - 脱炭素社会への転換
- 14-3 資源循環型社会の構築
 - 資源循環型社会の構築

他

- 15-1 子育て支援
 - 子育て支援
- 15-2 高齢者の生活支援
 - 高齢者の生活支援
- 15-3 障害者の生活支援
 - 障害者の生活支援

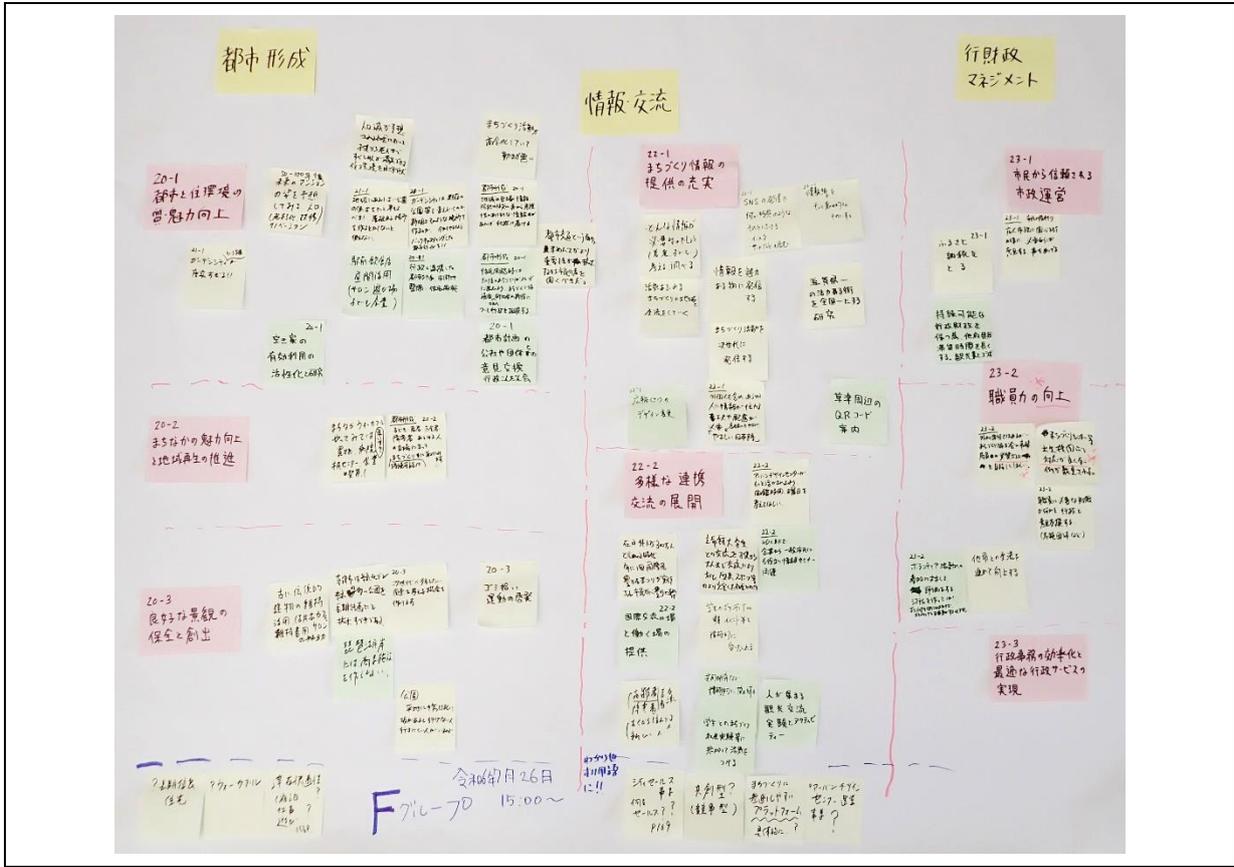
全体適用

Dグループ

Dグループのワークシート



Eグループのワークシート



Fグループのワークシート

4 閉会

分野全体の総括

- 第1回市民会議のグループワークで共有した、草津市の「良いところ」「気になるところ」の視点も活かしつつ、「市民・地域」「事業者等」の視点での「私たちの役割」がどうあるべきかを検討いただき、御意見をいただきました。
- 参加いただいた委員の皆様から、のべ 285 件の意見が集まりました。一番多かった分野は「6. コミュニティ」で 32 件、次いで「12. 防災」と「22. 情報・交流」が 24 件、「3. 学校教育」が 23 件となっています。

基本目標1 「こころ」育むまち		
1	人権	5 件
2	男女共同参画	5 件
3	学校教育	23 件
4	生涯学習・スポーツ	7 件
5	歴史・文化	7 件
基本目標2 「笑顔」輝くまち		
6	コミュニティ	32 件
7	地域福祉	2 件
8	健康	8 件
9	子ども・子育て・若者	13 件
10	長寿・介護	3 件
11	障害福祉	1 件

基本目標3 「暮らし」支えるまち		
12	防災	24 件
13	生活安心・防犯	9 件
14	環境	17 件
15	交通	29 件
16	道路	13 件
17	上下水道	4 件
基本目標4 「魅力」あふれるまち		
18	農林水産	8 件
19	商工観光	14 件
20	都市形成	19 件
21	公園・緑地	7 件
22	情報・交流	24 件
基本目標5 「未来」への責任		
23	行財政マネジメント	8 件
その他		
-		3 件

今後の流れ

- 今回、各委員の皆様からいただいたすべての意見について、各分野の担当課に周知し、分野ごとの「私たちの役割」をより良い内容に変更できないかを検討します。
- 第4回の市民会議のグループワークでは、いただいた意見をもとに「私たちの役割」をどのように検討したのかを報告することを確認しました。

第4回 草津市総合計画策定市民会議 実施内容

1 実施概要

日 時	令和6年9月5日（金）午後3時～午後4時30分
場 所	草津市役所2階 特大会議室
出席委員 （17名）	山元孝子委員、内田委員、寺尾委員、嘉悦委員、矢守委員、石本委員、井上委員、柴田委員、園田委員、野田委員、梶山委員、木村委員、守野委員、山元義宣委員、上田委員、鶴田委員、堀尾委員
傍聴者	1名

2 議事

○第2回～第3回市民会議での意見と対応について会議が行われました。

(1) 開会

- ・事務局による挨拶
- ・資料確認

(2) 第2回、第3回草津市総合計画策定市民会議での意見と対応について

(3) 閉会挨拶

3 会議録

●開会にあたり、事務局より挨拶

●嘉悦会長：

これまでの市民会議での意見がたくさんあったが、本日は皆さんと一緒に確認したい。

●事務局：

<配布資料1～3について説明>

【基本目標1、2（資料1：通し番号1から106番までを説明）】

●委員

後ろの用語解説のページ番号がずれているので、直していただきたい。

●事務局：

修正する。

●委員：

173ページの「スクールE S D」の記載方法について、他の用語と同様にカタカナの読みを付けた方が良いのではないか。

49ページ2行目の市民・地域の「我が事」の「こと」はひらがなではないか。表記のゆれが気になる。

●事務局：

1点目の用語解説は他の解説の内容と同様にカタカナ表記に統一する。

2点目の記載については、「我が事」は地域共生社会の内容を記載している。第1期基本計画でも漢字で記載している。49ページの方も「我が事」と漢字で記載したいと思う。本市で作成する文章のときは、ひらがなが多いが、国において固有名詞として使っているので統一したい。

●委員：

後ろに用語解説がある用語はアスタリスクをつけるなどして、前半のページを見ても分かるようにしていただきたい。

●事務局：

ウェルビーイングは冊子の前半で詳しく記載しているので、それを用語解説の変わりとしたい。

●委員：

ウェルビーイングとは何か？

●事務局：

身体的・精神的・社会的に良好な状態であることで、一人ひとりの幸せを追求していく概念である。

●事務局：

<配布資料1～3について説明>

【基本目標3、4（資料1：通し番号107から274番までを説明）】

●守野委員：

資料2の93ページの上から2行目のトラブルの未然防止の文言がおかしい。また、用語解説について、どの文言が用語解説に掲載されているか、表記をしていただきたい。

●事務局：

資料2の記載については内容を確認し修正する。

また、用語解説は、わかりやすく参照いただけるように修正する。

●委員：

用語解説において、まちなかとは「JR草津駅・南草津駅周辺の市街地のこと。」とあるが、自分にとっての「まちなか」が指すものは違うので、なぜこう定義しているのか理由等を整理してほしい。

●事務局：

本市においては草津市版地域再生計画を策定し、まちづくりに取り組んでいる。まちなかは中心市街地活性化のエリアということで草津駅周辺、それに併せて、南草津駅周辺を位置付けている。中心市街地活性化のエリアなどとリンクしてまちなかという表現をしている。まちなかという言葉を利用しているところもあるので、用語解説を工夫できないか確認する。

●委員：

ここでいう「まちなか」は、草津市におけるまちなかだが、先ほどのウェルビーイング、ウォークアブルも国土交通省の言葉は市民から見ると分からないため、何故駄目なのかとしか思わない。用語説明で、国土交通省で進めていることを書いた方がよい。市民にはわかりやすく、表記していただきたい。そのようなところを意識すると用語集の意味が出てくると思う。なぜこの言葉を使っているのか市民にもわかるよう背景を説明してほしい。

また、86ページの市民の役割については、「消防団への入団」とする修正は、ハードルが上がっているように見える。そういう意味で前回の会議で指摘したわけではない。消防団に理解や敬意を持つなどという趣旨であった。

●事務局：

用語解説について、「ウォークابل」という言葉は、国において新しく取組を広げているものである。取組を広げるという観点からもこちらの用語を用いたいと考えており、用語解説の記載について再度検討する。

86ページの消防団の入団は、「協力」を削除したが、担当課より消防団の方に市民の方にどのような対応をいただきたいか確認したところ、第1に「入団」であるとの回答があったため、そのような記載とした。平時は活動がなく、発災時に地元の情報提供や支援をいただきたいので、この記載に変更したものである。再度、担当課に確認する。

●委員：

この書き方だと、消防団に入らないといけないうように見える。これだと協力も入れた方がよい。町内会もそうだと思う。入ることしか地域の防災を高められないのかということになる。入りたくても入れない人もいる。これだと協力を残した方がよい。まずは理解を広めた方がよいのではないか。伸びしろがないと、戸惑うことになる。

●事務局：

「など」を追記することによって消防団への理解といったことを含めることができると思うので、検討する。

●委員：

53ページに健康推進員が書かれている。消防団についての記載は、こちらの記載を参考に表記を検討してはどうか。

●事務局：

こちらも確認し検討する。

●事務局：

<配布資料1～3について説明>

【基本目標5、その他（資料1：通し番号275から285番までを説明）】

●委員：

ウォークابلやプラットフォームの表現が難しい。この計画は市民に向けてなのか、国に向けてなのか。市民に向けているのであれば、今、解説集に載っている言葉は出来るだけ使わずに優しい言葉で書き、もうすこし読みやすいものにしたらどうか。今から全て変更することは無理だと思うので、次回の改訂のときからは市民にも読みやすいものにしていただきたい。

また、42ページのコミュニティの現況、「外国人住民は依然として増加傾向にあり」は違和感がある。依然としてはネガティブな意味があるので、誤解を生じると思う。変えた方がよいのではないか。増加することがよくないことのように見える。

●事務局：

市民にご覧いただくものになるので、わかりやすくしたいが、行政が行う上での最上位計画の指針なので難しい言葉を入れている。事業の実施段階では、わかりやすくお伝えしたい。

また、「依然として」の言葉は修正する。

●委員：

用語解説だが、出てきた順番に拾っているが、1ページからすべて読み切るわけではないので、この順番だと見にくい。五十音順にしていきたい。

●事務局：

用語解説は編集段階であり、最終的には五十音順に並べて製本させていただく。

●嘉悦会長：

他にあるか。無いようなので終了したい。

●事務局より閉会挨拶